



SHORINJIKEMPO

会報

少林寺拳法®

1

2009 No.10

焦点

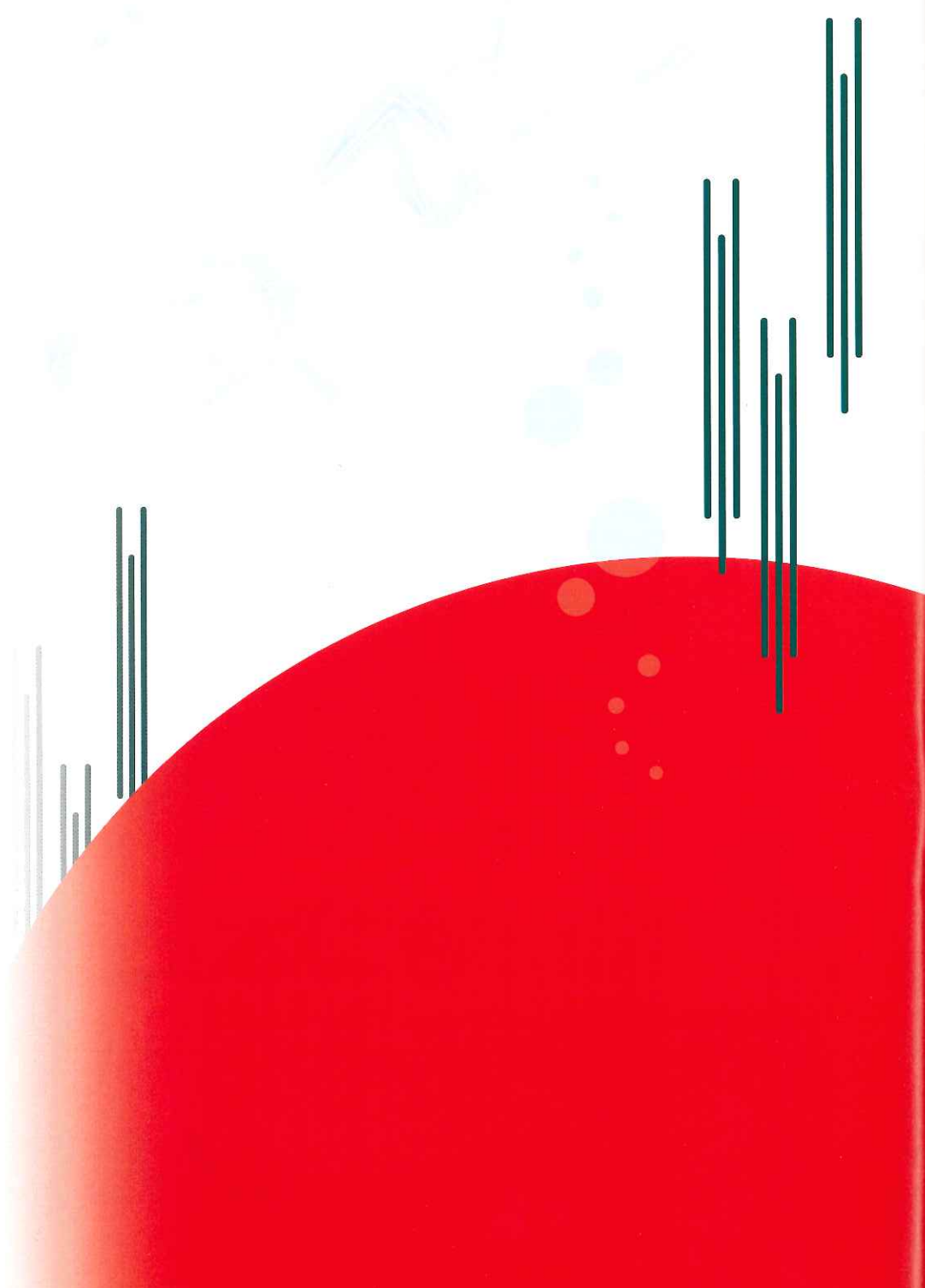
あなたがキラリ☆開祖のふるさと岡山で!
2008年少林寺拳法全国大会 in おかやま

焦点

開祖のふるさと岡山で旧交を温める
河南省留学生OB・OG訪日団来日

焦点

「組織機構改革」について真剣に討議
焦点/第1次部長・監督研修会





「やる気」を「やれる気」に変えることで 可能性を開き、成功へ導く

しまたにみつひろ
株式会社アイマム代表取締役 嶋谷光洋 氏

株式会社アイマムの代表取締役である嶋谷光洋さんは、人材育成のブ
口。20代でこの世界に飛び込んで
から、さまざまな企業を相手に教
育研修を企画、2000(平成12)
年には現在の会社を設立し「人づく
り」に携わってきた。そんな嶋谷さ
んに、人を育てるための要諦につ
いて聞いた。「いちばん大切なこ
とは、ハラを決めるかどうかです
ね。コーチングやアクションラーニ
ングなど、技術は山ほどあります。
でも相手は生身の人間ですから、教
科書どおりにいくことなどありませ
ん。相手の気持ちや、そのときの状
況などによって、対応はまったく変
わってきます。ですから、生半可な
気持ちで取り組んだら面倒くさくな
るし、相手の悪い部分ばかり見えて
くる……だからこそ「一緒に成長し
よう、育てよう」という心意気が大
事になってくるのです」。まず大切
なのは、「相手のために」という気持
ち。そうやってハラが決まると、相
手との関わり方が変わってくると嶋
谷さんは言う。「相手のことがいろ
いろ気になり、些細なことでも目
につくようになります。だから、名刺
の出し方を注意したり、挨拶の仕方
を教えたり……相手も最初は「う
さいな」と思つかもしれないけど、
指摘されることで気づき、学んでい
きます。小さいことですが、「あ、
なるほど」という経験が重なれば、
指導してくれた人に対して感謝の気
持ちは生まれ、それが敬意になっ

いく。そこで初めて人材育成のスキ
ルを生かすことができるのです」
さて、嶋谷さんに言わせると、ど
んな人でも「やる気はみんなある」そう
だ。でも、その「やる気」をどうやって
現実の仕事に結び付けるかわからな
いという。そこで「まず、小さ
な成功体験から始めるんです。例え
ば、今週提案書を2本作る、という
目標を立てるとします。そしたら4
件くらいのクライアントに、要望を
ヒアリングをしないといけません。
で、要望を整理して提案書にまとめ
るのですが、それが金曜日の午後には
仕上がってはいけませんから、そこ
から逆算してスケジュールを立てる
で、火曜日はこれでいいですか？と、
日にちを追って見てあげるわけです。
そうすると、無理なく目標を達成で
きる。小さなことでもできたという
成功体験が、「自分はやれそうだ」と
いう実感につながっていくんです」
努力すれば乗り越えられそうなの
目標を設定し、一つずつ達成しながら
前に進んでいく。すると、漠然とし
ていた「やる気」が、具体的なイメ
ジを持った「やれる気」に変わって
いく……そこに気づかせてくれたのが、
高校のときに入会した少林寺拳法での
経験だという。「あるとき先輩が私の
外受を見て、『嶋谷、俺の振突を受け
てみる』と言ってくれたんです。そし
たら先輩の振突が私のこめかみにク
リーンヒット(笑)。でもそのおかげ
で、自分の外受は身体が逃げていて

手だけで受けている、と気づくこと
ができた。で、『もう一回行くぞ。顔
の前で受けるんだぞ』と言われて、今
度はうまく受けることができたん
です。支部の先輩方がうまかったのは、
すぐに答えを言うのではなく、私に
考える余地を与えてくれたことです。
痛い思いをしたくないから、自分で
考える。だから本当の意味で身につ
く。例えば営業マンの場合、数字を
上げるのは大変ですね。そこで『こ
うすればいいよ』と手取り足取り教
えるのがよい上司かという……違
うと思うんです。その部下が営業を
好きになり、自分で問題を解決でき
るように言葉や絶妙なアプローチ
も、もしくはヒントを与える。それ
が、上に立つ者の役目だと思うので
す。そんな嶋谷さんは、現在の姿か
らは想像できないが、小学生のころ

はいじめられっ子だったという。つ
らい状況を、自らが変化することで
乗り越えてきたそう。小学校のこ
ろ、骨折などを含めひどいじめに
あっていたのですが、中学で少し状
況が変わり、まずいじめられっ子か
ら普通の子に変わった。次に高校で
運動部に入って、『ちょっと周りから
一目置かれる存在』に変わることが
できた。そういう変化の繰り返しで、
今があります。自分が変化すること
でいじめを克服してきた嶋谷さんだ
からこそ、人は変わることができ
るという可能性を実感し、そのすば
しさを伝えることができるのだらう。
それはまさに、自己確立の道。天か
ら与えられた人間の可能性だ。「だ
から、変化できることは、人生でいち
ばん贅沢なことだと思ってるんです」
(2008年11月13日、(株)アイマムにて)



渡邊和郎プロフィール…1967昭和42年、神奈川県生まれ。上智大学卒業。独立。現在、フリーライターとして活躍中。湘南茅ヶ崎支部所属。正季士四段。